



平成 26 年 4 月 24 日

各 位

会社名 **フタバ産業株式会社**  
代表者名 取締役社長 三島 康博  
コード番号 7241 東証・名証第1部  
お問合せ先 取締役専務執行役員 佐々木 康夫  
TEL (0564) 31-2211

## 特別利益と特別損失の計上、業績予想値と決算値の差異および 期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)において、特別利益ならびに特別損失を計上するとともに、平成 25 年 10 月 30 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、上記とともに、平成 26 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当予想につきましても修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益(投資有価証券売却益)の内容及び金額

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、以下のとおり投資有価証券売却益が発生いたしましたので、お知らせいたします。

- 投資有価証券売却益の発生期間  
平成 26 年 3 月 18 日～平成 26 年 3 月 26 日
- 投資有価証券売却の理由  
財務体質の向上及び資産の効率化を図るため。
- 特別利益の内容  
売却株式 当社保有の上場有価証券 2 銘柄  
売却益 4,806 百万円

#### 2. 特別利益(退職給付信託設定益)の内容及び金額

当社が保有する投資有価証券の一部を退職給付に抛出し、退職給付信託を設定することといたしましたので、お知らせいたします。

- 退職給付信託設定日 平成 26 年 3 月 27 日
- 退職給付信託設定額 2,472 百万円
- 退職給付信託設定益 2,377 百万円

#### 3. 特別損失の内容及び金額

今回、連結財務諸表において、固定資産の減損損失 2,237 百万円を特別損失として計上しております。内訳は下記のとおりです。

会社及び場所	用途	種類	金額(百万円)
FIC アメリカ(株) 米国 イリノイ州	生産設備	土地、建物、機械装置 工具、器具及び備品	1,787
東莞双叶金属制品(有) 中華人民共和国 広東省	生産設備	機械装置 工具、器具及び備品	449

また、個別財務諸表において、当社が保有する連結子会社フタバノースアメリカ E&M(株)ほか 2 社の株式について純資産額が下落したため、個別決算において関係会社株式評価損 4,218 百万円を計上いたしましたが、連結財務諸表に与える影響はございません。

#### 4. 平成 26 年 3 月期通期業績予想と実績との差異

平成 26 年 3 月期 通期 連結業績予想数値と実績との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	385,000	1,500	300	100	1 円 43 銭
実績値 (B)	399,378	2,784	2,365	3,252	46 円 50 銭
差額 (B - A)	14,378	1,284	2,065	3,152	—
差額率 (%)	3.7%	85.6%	688.3%	3,152.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	365,246	△360	△1,136	△4,040	△57 円 76 銭

#### 5. 業績予想との差異の理由

平成 26 年 3 月期通期連結業績につきましては、売上高が想定を上回り、原価低減活動の効果もあって営業利益・経常利益が増加しました。また、上記にありますように、当社が保有する投資有価証券の一部を売却及び退職給付信託設定したことによる特別利益の計上と固定資産の減損損失を特別損失として計上した結果、当期純利益は計画を大幅に上回ることとなりました。

#### 6. 配当予想の修正

##### (1). 修正の内容

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
前回予想 (平成 25 年 5 月 7 日)	—	0.00	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	3.00	3.00
当期実績		0.00			
前期実績 (平成 25 年 3 月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

##### (2). 修正の理由

当社は株主の皆様の利益向上を経営の重要課題のひとつとし、利益配分につきましては、安定的な配当の維持を基本に、経営成績・配当性向などを総合的に勘案し、株主の皆様のご期待に沿うよう努めております。前年度末まで当社の利益剰余金が負値となっておりましたことから、当期の期末配当金については「未定」と公表しておりましたが、連結業績及び個別業績ともに 3 期ぶりに純利益を計上することができることになったため、1 株当たり 3 円 00 銭を復配させていただく予定であります。

以 上